



JUNSEI

製品安全データシート

1, 化学物質等及び会社情報

製品名 (化学用) 水硫化ナトリウム 70% Sodium hydrosulfide 70%
整理番号 39265
作成日 2000 年 11 月 30 日
改訂日 2011 年 4 月 22 日

会社名 純正化学株式会社
本社住所 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-4-16
連絡先及び緊急連絡先 (MSDS 作成担当)
担当部門 営業本部 学術担当
担当住所 〒343-0844 埼玉県越谷市大間野町 1 - 6
電話番号 048-988-3621 FAX 番号 048-988-6689
E-mail: shiyaku-t@junsei.co.jp
http://www.junsei.co.jp

用途と使用上の注意: 本製品は試薬ですので、試験研究用以外には使用しないで下さい。

2, 危険有害性の要約

【GHS 分類】 NITE 分類(ID=999)

物理化学的危険性

可燃性固体 : 区分外
自然発火性固体 : 区分外
自己発熱性化学品 : 区分 1
水反応性可燃性物質 : 区分外
有機過酸化物 : 区分外

健康に対する有害性

急性毒性 経口 : 区分 3
皮膚腐食性 / 刺激性 : 区分 1A-1C
眼に対する重篤な損傷性 / 刺激性 : 区分 1
特定標的臓器 / 全身毒性 (単回暴露) : 区分 2 (呼吸器)、区分 3 (気道刺激性)

環境に対する有害性

水性環境急性有害性 : 区分 1
水性環境慢性有害性 : 区分外

(注) 危険有害性の分類で、「分類対象外」及び「分類出来ない」は項目を省いた。

【GHS ラベル要素】

【GHS 絵表示】



【注意喚起語】

危険

【危険有害性情報】

自己発熱; 火災の可能性
飲み込むと有害(経口)
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
重篤な眼の損傷
呼吸器の障害のおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
水生生物に非常に強い毒性

【注意書】

【安全対策】

- ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ・粉じんを吸入しないこと。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・環境への放出を避けること。

【応急措置】

- ・吸入した場合、空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
- ・皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
- ・衣類にかかった場合、直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。
- ・汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。
- ・ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。
- ・飲み込んだ場合：直ちに医師の診断、手当てを受けること。口をすすぐこと。
- ・眼に入った場合、直ちに医師の診断、手当てを受けること。
- ・吸入した場合、直ちに医師の診断、手当てを受けること。
- ・漏出物は回収すること。

【保管】

- ・積荷、パレット間に空気のすきまをあけること。
- ・他の物質から離して保管すること。
- ・日光から遮断して涼しく換気の良い場所で施錠して保管すること。
- ・冷所で保管すること。

【廃棄】

- ・中身及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。

3, 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：単一製品

化学名：硫化水素ナトリウム

化学式: NaHS
CAS No: 16721-80-5
EINECS No: 240-778-0
含有量: 70%
化審法: 1-416
安衛法: 1-(3)-221

4, 応急措置

吸入した場合: 新鮮な空気と安静。必要な場合には人工呼吸。医師に連絡。
皮膚に付着した場合: 汚染された衣服を脱がせ、水と石けんで皮膚を洗浄。医師に連絡。
眼に入った場合: 先ず数分間、多量の水で洗い流す(できればコンタクトレンズをはずす)。医師に連れて行く。
飲み込んだ場合: 意識あるなら、口をすすぐ。意識なければ、何も与えない。医師に連絡。
予想される急性症状及び遅発性症状
固体は、眼・皮膚のただれ、気道の刺激、頭痛、吐き気、意識喪失、興奮とけいれん後に呼吸麻痺。
遅発性症状: 肺水腫。
最も重要な徴候及び症状
応急措置をする者の保護に必要な注意事項
医師に対する特別な注意事項

5, 火災時の措置

消火剤

水スプレー、粉末消火薬剤、AFFF(水性膜泡消火薬剤)、泡消火薬剤、二酸化炭素。
使ってはならない消火剤

直接水、二酸化炭素、泡消火剤

消火方法

周辺火災の場合、出切る限り速やかに容器を火災現場より遠ざける。移動不可能な場合は容器及び周囲に散水して冷却する。
着火した場合は風下の人を退避させ火元への燃料源を断ち、風上より消火剤を使用して消火する。消火に当たっては保護具を着用する。

特有の危険有害性:

火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガス及びヒュームを発生するおそれがある。
引火性が強く爆発することがある。
フレア-燃焼効果により速やかに燃焼するおそれがある。
加熱されたり火炎に巻き込まれると、爆発的に分解するおそれがある。
消火後再び発火するおそれがある。

特有の消火方法: データなし

消火を行う者の保護のために着用する保護具: 防火保護服、手袋に加え、空気呼吸器等を着用する。

6, 漏出時の措置

人体に対する注意事項

暴露しないよう十分な換気のもと保護具着用して行う。

保護具及び緊急時措置

「8. 暴露防止及び保護措置」における、保護具着用
環境に対する注意事項

上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。
回収、中和
漏出物をふた付の容器に集め、残留物を砂または不活性吸収剤に吸収させて安全な場所に移す。

7, 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 蒸気、ミスト、ガスが、皮膚に触れたり、吸入することがないように、局所排気したり、保護具を着用する。
- 作業場を換気する。
- 作業中は飲食、喫煙をしない。
- 強酸化剤との接触に注意する。

保管

- 火気厳禁。
- 密栓して換気のよい冷暗所に保管する。
- 強酸化剤から離しておく。

8, 暴露防止及び保護措置

通気:換気装置を用いて、ミスト、ほこり、蒸気濃度を低く保つ。

管理濃度(労働安全衛生法):設定されていない。

許容濃度

日本産業衛生学会(2008年度):設定されていない

ACGIH(2009年):設定されていない

設備対策

局所排気装置

保護具

- 防塵マスク。酸性ガス 用防毒マスク。送気マスク、空気呼吸器等。
- 不浸透性保護手袋。
- 安全ゴーグル。
- 不浸透性保護衣。

9, 物理的及び化学的性質

外観:無色針状結晶、無色～黄色固体

臭い:硫化水素臭

pH: データなし

融点:350

沸点:データなし

引火点:不燃性

爆発範囲の上限・下限: データなし

蒸気圧:データなし

蒸気密度:データなし

比重:1.79 g/cm³

溶解度:水、アルコール、エーテルに可溶。

n-オクタノール/水分配係数:データなし

自然発火温度:不燃性

分解温度:データなし

10, 安定性及び反応性

反応性と安定性: 40 以上に加熱すると空气中で自然発火する。

加熱すると分解して、Sox, Na₂O の有毒ガスを発生する。

湿気のある空气中で容易に水酸化ナトリウムと硫化ナトリウムに分解する。

避けるべき条件(静電放電、衝撃、振動など):加熱、水・湿空気、混触危険物質との接触。

混触不可物質:酸類、ジアゾニウム塩。

危険な分解生成物:二酸化硫黄、硫化水素、水酸化ナトリウム、硫化ナトリウム

危険な重合反応:しない

11, 有害性情報

急性毒性 経口

ラット LD50 96mg/kg, 115mg/kg, 200mg/kg

上記データに基づき計算したが、計算値がこれらのデータの最低値よりも小さいため、最低値を採用し、区分 3 とした。

飲み込むと有害(区分 3)

急性毒性 経皮

データなし

急性毒性 吸入:ガス

データなし

急性毒性 吸入:蒸気

データなし

急性毒性 吸入:粉塵ミスト

データなし

皮膚腐食性 / 刺激性

ウサギの試験結果、刺激性がある。

ヒトの眼・皮膚に対して腐食・刺激性。腐食性物質。

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷(区分 1A-1C)

眼に対する重篤な損傷性 / 刺激性

ウサギの試験結果、刺激性がある。

ヒトの眼・皮膚に対して腐食・刺激性。腐食性物質。

重篤な眼の損傷(区分 1)

呼吸器感受性

データなし

皮膚感受性

データなし

生殖細胞変異原性

データなし

発がん性

データなし

生殖毒性

データなし

特定標的臓器 / 全身毒性(単回暴露)

鼻、のど、肺に刺激性があり、高濃度ばく露では息切れ、肺水腫を起こす。ヒトへの影響として皮膚、眼、粘膜に腐食性があることから気道刺激性があると判断。

呼吸器の障害のおそれ(区分 2)
呼吸器への刺激のおそれ(区分 3)
特定標的臓器 / 全身毒性(反復暴露)
データなし
吸引性呼吸器有害性
データなし

12, 環境影響情報

- 生態毒性

水性環境急性有害性

魚類 ファットヘッドミノール TLM 0.0071-0.55mg/L/96H

水生生物に非常に強い毒性(区分 1)

水性環境慢性有害性

水中で分解して水溶液が強塩基となることが毒性の要因と考えられ、環境水中では緩衝作用により毒性影響が緩和されるため、区分外とした。

13, 廃棄上の注意

中身及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。

14, 輸送上の注意

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にこなう。

国連番号: 2949

品名: 硫化水素ナトリウム、結晶水の含有率が 25 質量% 以上のもの

国連分類: 8

容器等級:

海洋汚染物質: 非該当

緊急時応急措置指針番号: 154

15, 適用法令

消防法: 非該当

毒劇法: 非該当

P R T R 法: 非該当

労働安全衛生法: 安衛法通知有害物(施行令、別表第九の番号): 610(硫化水素ナトリウム)

船舶安全法危: 危規則第 3 条危険物 可燃性物質類・自然発火性物質 腐食性物質

航空法: 施行規則第 194 条危険物 自然発火性物質 腐食性物質

港則法: 施行規則第 12 条危険物 自然発火性物 腐食性物質

16, その他の情報

参考文献

- メルクインデックス 14 版 8587

- STN インターナショナル RTECS ファイル AQUIRE ファイル

- 危険物船舶運送及び貯蔵規則(十四訂版)国土交通省海事局検査測度課(海文堂)

- 改訂第3版 緊急時応急措置指針(日本規格協会)
- 15911 の化学商品(化学工業日報社)
- NITE GHS 分類データ (ID=999)
- NITE GHS 分類マニュアル(H18.2.10 版)
- 製品安全データシートの作成指針(改訂第2版)((社)日本化学工業協会)
- 化学物質総合情報提供システム(CHRIP)(NITE) <http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html>

コメント

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。また、記載物性値は文献値であり、規格値ではありません。全ての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上でご使用下さい。